

# ペット利用される野生動物の消費者行動変容キャンペーン

公益財団法人世界自然保護基金ジャパン（WWFジャパン）

WWFジャパンでは「ペット利用によって危機に晒される野生動物をゼロにする」ことを目標に、2026年までに消費者が野生動物のペット飼育の問題を認識し、責任あるペット購入・飼育を選択することを目指しています。

## 【活動背景】

近年、日本でのペット用の野生動物の輸入頭数は増加しています。野生動物の乱獲は、種を絶滅の危機に追い込む大きな要因の1つです。しかし、野生動物の飼育を希望する方の中には、野生動物のペット利用に伴う絶滅や違法取引といったリスクを理解していない人が多いことが問題となっています。

## 【活動目的】

WWFジャパンでは、消費者が「飼いたい」と思う気持ちに自ら疑問を投げかけ、飼育を見直してもらおうキャンペーンを行いました。今回の活動では、人気の高いフクロウ目の市場調査と消費者の意識調査を行い、キャンペーン改善のための情報を集めることを目的としました。

## 【団体からのメッセージ】

ペット利用される野生動物の中には、絶滅の脅威にさらされている動物がいます。また、野生下とは異なる環境でストレスを抱える動物も少なくありません。ペットに向かない動物がいること、そして、そうした動物を守るためにできることを考えてみてください。

## 【助成金の用途・活動結果】

当財団からの助成金は、キャンペーンで取り上げたフクロウ目の取引調査と消費者意識調査の実施に活用していただきました。フクロウ目の取引調査を通して、日本はフクロウ目のトップ輸入国であることや、さまざまな種類のフクロウが日本の市場に流通していることが明らかになりました。また、オンラインアンケートやインタビュー調査を実施し、飼育意向者のフクロウ目を中心とした野生動物のペット飼育に関する意識や情報源等を把握し、キャンペーン改善へのインサイトを得ました。

